



บริษัท เซนโก เซอร์วิส (ประเทศไทย) จำกัด

SENKO SERVICE (THAILAND) CO.,LTD.

49/350 Moo 7, Bangkun - Klong Luang Road, Tambol Klong 2, Amphur Klong Luang, Pathumtani 12120

49/350 หมู่ที่ 7 ถนนบางขันธุ์-คลองหลวง ตำบลคลองสอง อำเภอคลองหลวง จังหวัดปทุมธานี 12120

Tel : 66-2-901-6229 Fax : 66-2-153-4845

担当: 藤原孝則 MR.Takanori FUJIWARA

Mobile 089-000-3315 E-Mail address : senko-th.fujiwara@dream.ocn.ne.jp

センコーサービスタイランドは、電気設備 保安のお手伝いを致します。

年次点検(1年に1回 停電にて設備を停止させての点検)を行います。

日本では、感電や火災という重大な事故を防ぐ為に、高圧で受電されている工場やビルなどでは、電気事業法に従い、電気主任技術者を選任して電気設備の保安確保を行うか、電気保安協会と契約して保安確保を行う必要があり、年次点検が義務づけられております。

タイには、日本の電気事業法に類する法律がありません。

火災保険契約に年次点検が条件(点検の頻度や内容)となっている場合があります。

この場合、年次点検に必要な内容につきまして、事前に保険会社と確認することをお勧めします。

過去の年次点検・報告書を拝見させて頂ければ、適正な点検内容で有ったかを検証の上で、弊社価格を提案致します。

日本では、年次点検時には、以下点検が行われております。

1. 高圧及び低圧の絶縁抵抗測定

絶縁抵抗計による漏電の検査です。漏電は配線が切れたり剥きだしになっていたり、端子や接点に水がかかって起きる場合もあります。工場内作業者の感電を防ぐ為に必要な検査です。

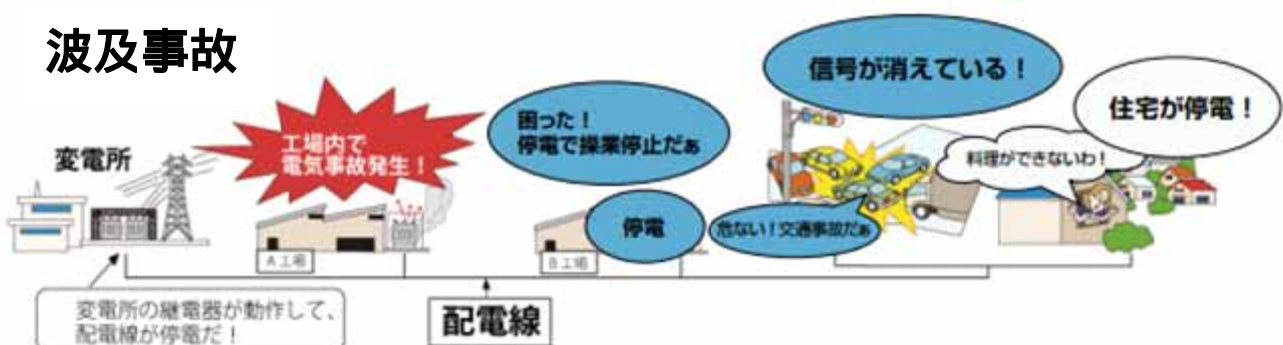
2. 高圧ケーブルの体力測定

高圧ケーブルの末端処理部の劣化を調べる検査です。通常の電圧の倍を流して高圧ケーブルの劣化が無いかを調べます。高圧ケーブルの劣化を原因とする短絡・停電を防ぐ為に必要な検査です。

3. 保護継電器の動作試験

受変電設備の故障等による過電圧・過電流から機器を保護する為の保護継電器が正しく作動するかをリレー試験にて検査します。波及事故(自社の電気設備の故障・損傷により電力会社の配電線を停止させ、付近一帯を停電させる事故)を起こさない為に必要な検査です。

波及事故



4. 変圧器(トランス)の絶縁オイルの汚れ点検と、トランス廻りの清掃

高圧電力から低圧電力への変換を行う変圧器(トランス)内の絶縁オイルの劣化を調べる検査です。絶縁オイルの劣化により、冷却効果が低下、コイル絶縁が破壊され、火災・停電を起こさない為に必要な検査です。

5. 接地抵抗測定

感電防止などを目的とした保安接地(大地と電路を接続すること)が適切であるかを検査します。

6. 電線接続部の増し締め



電極

電極の締めが緩く、電極の接地面積が小さいと、熱をもって火災の原因となることも有ります。逆に締めがキツ過ぎると、電流が流れて電極部が膨張した際に、ネジが食い込み、電極部が薄くなり、許容電流値が下がり、やはり発熱することも有ります。電線接続部が適切であるかを検査します。この増し締めは、トルクレンチで行われる必要が有ります。

年次点検以外にも、事故を未然に防ぐために、センコーサービスタイランドにては、電気設備に関わるトラブル解決の提案を行います。

例)停電

停電 自社のビルや工場の一部だけが停電している

予想される状況 漏電、使い過ぎなどによる停電が考えられます。分電盤にあるブレーカーが落ちています。

停電 自社のビルや工場だけが全部停電している

予想される状況 受電設備に原因があります。高圧受電設備には立ち入らず施工業社へ連絡して下さい。

トラブル 周り一帯も停電している

予想される状況 波及事故による停電が考えられます。

電力会社からの送電が止まっていて停電しています。送電にそなえ回転機器などからは離れて待機して下さい。

停電した際には、受電設備のブレーカーをOFFにすることが大事です。

電力が復帰した際に、通常より高い電圧が届くことが有り、これから機器を保護する為に必要な措置となります。

「年次点検」については、センコー サービス タイランドまで、ご相談下さい。